

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

液化室素容器再検査所の開設

平成17年5月下旬に県庁への許可申請が済み、6月1日『超低温容器(液化室素)検査所』を開設しました。これにより、自加圧型の液化室素容器(以下、容器)の検査を液化室で行うことが出来るようになりました。

開設当初は、液化室所有容器の検査を行い、検査設備の充実を図りつつ、7月から研究室所有容器の検査を開始しました。年内には、物性研内の全ての容器の検査を終わらせる予定ですので、ご協力をお願いします。

なお液化室で検査できる容器は、

容積：300L以下

最高充填圧力：0.4MPa以下

となりますので、ご注意下さい。

また、容器は高圧ガス保安法により定期的な容器検査が義務づけられていますので、詳細は液化室にお問い合わせ下さい。



図1 自加圧型の液化室素容器

容器再検査の進行状況

10月末日現在、研究室所有容器の検査は30本程が完了しました。検査容器の残りは半分くらいですが、特殊な容器が数本ある為、今後は時間がかかる事が予想されます。

また今まで検査をした中で、容器上部の液面計取付部をメクラ栓にしている容器(図2参照)の多くが、その中にテフロン製のパッキンを入れていないことが多く見受けられました。このような容器を使用している研究室は、パッキンの有無を再度確認して下さい。



図2 メクラ栓部分



拡大写真

表・1 月別容器検査数量

月	検査本数
6	1
7	6
8	8
9	8
10	5

液化室所有容器を含む